

◆全国的に地域鉄道が直面する課題認識

- ・利用者の減少(人口減少・高齢化社会の進行、新しい生活様式の浸透等)や人員等が不足する中での、路線やサービスの確保・維持・改善による生活交通の確保
- ・地域のまちづくり(都市計画、交通計画への位置付け等)と一体となったコンパクト・プラス・ネットワークの形成 ⇒ 持続可能な地域公共交通ネットワークの実現



※交通事業者の経営努力のみでは課題解決に限界があり、
負のスパイラルに陥る恐れ ⇒ 地域全体の活力低下を招く懸念

◆高山本線の検討課題とブラッシュアップの方向性

<検討課題>

- ・鉄道が担う役割の整理と関係者間における将来ビジョンの共有
- ・地域内外の移動手段として、他の交通モードとの役割・機能分担、連携のあり方
- ・関係機関(各交通事業者、行政)相互の連携強化と担う役割のあり方

<ブラッシュアップの方向性>

- ・運行サービスの向上によるコンパクトなまちづくりの推進
- ・地域住民はもとより、来街者の円滑な移動環境の実現による地域公共交通全体の活性化

高山本線ブラッシュアップ施策について

◆更なる利便性向上に関する検討の視点

- ①ダイヤの改良
- ②駅勢圏の拡大
- ③車両の改善
- ④運賃政策の充実

◆ネットワーク機能の強化に関する検討の視点

- ①鉄道線相互の接続性向上
- ②バスとの接続性向上

※具体の施策案については、その実現可能性や効果などの検討を深度化し、実現可能なものから段階的に実施することを目指して、関係機関との議論を加速化する必要がある